

2021年9月27日

株式会社三菱UFJ銀行

「ID連携APIサービス」の提供開始について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 当行）は、当行のインターネットバンキングである三菱UFJダイレクトの利用者が、三菱UFJダイレクトのアカウントを使って、外部サービス会社（以下 事業者）のオンラインサービスに登録・ログイン出来るようになる「ID連携API^[1]サービス」（以下 本サービス）の提供を、2021年10月より開始いたします。

1. 本サービス提供の背景

近年、デジタル化が急速に進展し、多くの事業者がオンラインサービスを提供しています。その中で、サービスの利用開始時に登録される利用者の身元情報の確実性と会員登録率の向上をどのように両立させるかは、事業者にとっての課題であり、利用者がID・パスワードを失念する等により、サービス利用を取りやめるケースも少なくありません。また、利用者にとっても、多数のサービスのID・パスワードを管理することは負荷が大きく、事業者に提供した本人確認資料の流出リスクに関する懸念もあります。

2. 本サービスの概要

このような背景から、当行は三菱UFJダイレクトのアカウントを利用して、事業者のオンラインサービスへ登録・ログイン出来るようになるID連携機能および、ID連携と同時に三菱UFJダイレクトに登録された利用者情報を、利用者同意を前提に事業者に連携する機能をAPI形式で事業者提供いたします。

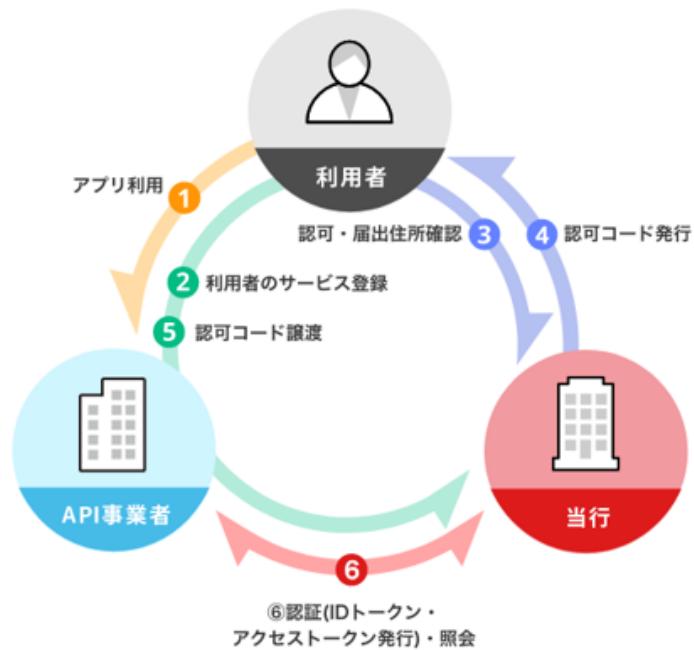
【事業者におけるメリット】

- ・ 当行のセキュリティ基準を充たした認証機能を事業者サービスの本人認証^[2]でも利用出来ます。
- ・ 銀行口座開設時に犯罪収益移転防止法に基づいて実施した本人確認済情報を事業者が提供するサービスへの申込時の身元確認^[3]に活用頂けます。
- ・ 本サービスによって取得した情報を登録フォームに埋め込めば、利用者が入力する項目を減らすことが出来るため、事業者サービスにおける会員登録率を高めることが可能です。
- ・ 利用者は使い慣れた三菱UFJダイレクトのアカウントで事業者が提供するサービスにログイン出来るようになるため、再訪率を高めることにつながります。

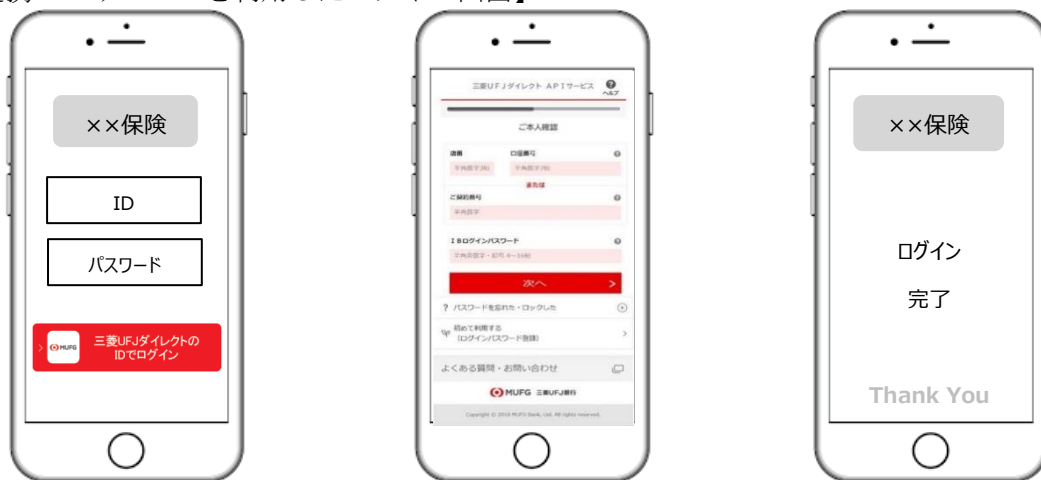
【利用者におけるメリット】

- ・ 三菱UFJダイレクトのアカウントに登録されている情報を使って、事業者が提供するサービスの会員登録が出来るようになるため、利用者情報の入力項目を減らすことが出来ます。
- ・ 使い慣れた三菱UFJダイレクトのID・パスワードで事業者が提供するサービスにログイン出来るため、事業者毎に固有のID・パスワードを設定する必要がなくなります。なお、連携される利用者情報は、氏名や生年月日、住所、性別、電話番号、メールアドレスであり、三菱UFJダイレクトのID・パスワード自体が事業者に連携されることはございません。

【ID 連携 API サービスのイメージ】



【ID 連携 API サービスを利用したログイン画面】



現在、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社と株式会社 Finatext ホールディングスが本サービスの導入を予定しており、今後、導入先を順次拡大していく計画です。

今後も、当行は API を通じて、お客さまの多様なニーズにお応えできるよう、サービスの充実に取り組んでまいります。

- ^[1] API とは、アプリケーション同士を連携させるための接続仕様・ルールを指し、API 連携により、様々な Web サービスの利便性向上や付加価値向上、コスト削減などを実現する手段として用いられています。
- ^[2] 本人認証とは、認証要素の照合で、その人が作業していることを示すことを指しています。
- ^[3] 身元確認とは、登録する氏名や住所、生年月日等が正しいことを証明・確認することを指しています。

以 上